

編集後記

重症心身障害者(児)のリハビリテーションには世界各国、いろいろと悩みを持っている。はたして先天的に運命づけられたものを対象にリハビリテーションという言葉を使うべきなのか、リハビリテーション的アプローチの面をとりあげてリハビリテーションと総称するのか論議をよんでいる。今月号ではその現状、考え方、今後の方向などが座談会、各論文で検討、討議されている。なるほどと思って考えさせられる材料は多々あり、それをどのように解決して行くかは、やはり国の方針がもっと明確にならなくてはどのような現状が各所で指摘されている。たんに個人やある種の団体の善意や努力(職員も含

めて)のみによりこれらの施設が支えられることには限度がある事が明白で、量、質ともに改善、改革が必要な時期に来ている。

現場での経験を訴える佐藤論文には感激を覚えた。また重症児を持たれた親の御感想にも胸をうたれる。

研究と報告の鎌倉論文、永井論文、および中司氏による講座の心理テスト(2)はリハビリテーションの臨床で参考になる面が大である。

この誌の内容についていろいろ御意見を編集部まで是非お寄せ戴きたい。

(荻島 秀男)

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
小 池 文 英
砂 原 茂 一
津 山 直 一
水野 祥太郎

編集委員

明 石 謙
上 田 敏
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
荻 島 秀 男
土 屋 弘 吉
横 山 巖

編集同人

赤 津 隆
青 山 孝
今 田 拓
今 村 哲 夫
江口 寿栄夫
小 野 啓 郎
河 邨 文 一 郎
金 久 卓 也
兼 松 英 夫
五 味 重 春
沢 村 誠 志
杉 山 尚
中 村 裕
野 島 元 雄
間 得 之
長谷川 恒雄
橋 倉 一 裕
平 方 義 信
三 島 博 信
山 内 裕 雄
渡 辺 英 夫
飯 田 卯 之 吉
遠 藤 千 恵 子
小 川 孟
加 藤 一 郎
小 島 蓉 子
笹 沼 澄 子
鈴 木 明 子
高 田 玲 子
陳 慧 玉
野 本 卓
(以上五十順)
順, 敬称略

(細田, 田村, 鹿島)

次号予告(第3巻第6号)

特集 リハビリテーションと心理

身障害者の心理学的諸問題……………	三重大学	三 沢 義 一
臨床における家族とのかかわり……………	慶応大学	小此木 啓 吾
施設と身障害者……………	国立身障センター	永 井 昌 夫
聴覚・言語障害者の心理……………	七沢病院	河 内 十 郎
視覚障害者の心理……………	国立特殊教育研	山 県 浩
リハビリテーションチームと Clinical Psychologist ……	都養育院	荻 島 秀 男
臨床心理士の資格と身分……………	早大	相 場 均
偏見と差別……………	作家	な だ い な だ
セラピストの個性……………	府中リハ学院	鈴 木 明 子
リハビリテーションにおける		
心理の積極的役割……………	国立聴言センター	田 中 豊
職業心理学の最近の動向……………	立教大	藤 本 喜 八
進行性疾患に対する心理的配慮……………	東大病院	上 田 敏
リハビリテーション心理学関係参考資料……………	国立身障センター	永 井 昌 夫
座談会 Donald Wilson 氏を囲んで……………	整肢療護園	小 池 文 英・他
講 座 心理テスト(Ⅲ)……………	横浜国大	中 司 利 一